

28年度決算 一般会計・特別会計合計で 258億 913万円を支出

税金がどのように使われたか—平成28年度の決算は、8月28・29・30・9月4・6日の5日間、決算特別委員会を開き、審査しました。同委員会では一般会計と6特別会計、2企業会計を原案のとおり認定すべきものと決定。第3回定例会最終日の9月8日本会議で全ての決算が認定されました。

平成28年度各会計の決算額				
会計名	歳入(収入)	歳出(支出)		
一般会計	213億 899万3,333円	204億 78万7,660円		
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	40億 109万8,182円	38億6,088万4,734円	
	後期高齢者医療	2億5,802万 571円	2億5,671万 833円	
	国民健康保険(診療施設勘定)	2億9,931万6,882円	2億5,884万9,352円	
	公共下水道事業	4億7,456万6,014円	4億4,549万6,405円	
	農業集落排水事業	5億4,642万7,003円	5億3,409万8,420円	
	浄化槽事業	5,734万 117円	5,230万4,869円	
企業会計	西根病院事業	収益的	8億6,387万 597円	8億4,318万7,911円
		資本的	1億7,491万7,000円	1億7,811万7,077円
	水道事業	収益的	5億6,817万4,094円	4億8,686万4,106円
		資本的	4億1,902万8,200円	6億5,674万2,339円

決算特別委員会の主な質疑と意見

Q 基金積立は、財政運営上特殊な形なので、必要最小限であるべき。
A 災害や想定外の税収落ち込み、交付税の一本算定での減などを考えてのこと。
Q (委員会の意見) 適正規模を目指すべきである。
A 地域コミュニティ活動を、自治会に限定しないものとしたが、その対象事業の範囲はどこまでか。
Q 宝くじの助成事業として、平成28年度は、荒屋コミュニティセンターのお祭りでのやぐら購入と、松川一の宮太鼓の物品購入であり、自治会以外の団体が採択になったものである。
A (委員会の意見) この事業について、もっと市民や団体に周知するべきである。



かずのみや 一の宮太鼓の発表会

Q 現在、通学期だけの支援をしているが、平館高校への入学増加のためにも、通学期以外の支援も行うべき。
A 来年度の予算編成の中で、企画財政課が中心になり、検討していきたい。

Q 特定空家などについて、機敏な対応が必要と思うが、状況はどうなっているのか。空家対策の窓口は、防災安全課だが、通学路の関係などは担当課と情報を共有しながら、対応していきたい。
A (委員会の意見) 空家対策事業の進捗状況について、早めに情報公開をするべきである。



県立平館高校

Q 各振興協議会は計画書を作ることになっているが、その計画がどのように進められているのか。
A 具体的な進め方については、それぞれ地域振興協議会で、地域でできるもの、できないものを協議し、必要に応じて市に要望してほしい。



防災行政無線の放送室

Q (委員会の意見) 各振興協議会の計画通り進められるように、指導するべきである。
A 安代地区では、防災行政無線を利用して、地域限定のお知らせをしている。西根、松尾地区ではどうなっているのか。
Q 更新に伴い、西根、松尾地区でも、子局のマイクを使って放送できるようになった。今後、統一したルール作りが必要。
A (委員会の意見) 早急に対応するべきである。

Q 市内の保育所と小学校のエアコン設置の状況を伺う。
A 保育所は、計画的に設置を進めており、寺田、奇木保育所は、ほぼ設置が終了し、今後は松野保育所の予定である。小学校は、保健室に設置するよう検討したい。
Q (委員会の意見) エアコン設置を計画的に進めること。
A 私立保育園に整備支援しているが、待機児童の解消に向けての状況は、整備支援は、杉の子、大更保育園に行っており、整備完了後の定員は杉の子30人増、大更10人増の予定である。
Q (委員会の意見) 保育士の確保で、待機児童の解消を図ること。



給食を食べる保育所の子どもたち

Q 子ども医療費助成の現物給付は、何に基づき支給しているのか。市独自でできないのか。

A 県の交付要綱に基づき支給している。また、市独自に行うことは、事務が煩雑で難しい状況である。

Q (委員会の意見) 県に対して、現物給付方式を拡大するよう要望すること。

A ごみ収集運搬業務の委託業者は、どのように決定しているのか。また、他市町の委託契約方法の状況は。

Q (委員会の意見) 競争入札の導入を検討しよう。

A ごみ収集運搬業務のサービスを低下させないため、西根、松尾、安代の地区ごとに委託範囲を分け、随意契約で行っている。他市町でも、盛岡市、岩手町などは随意契約で行っている。



ごみ収集運搬の作業状況

Q 酪農家の所得向上のため、受胎率を上げる取り組みが必要ではないのか。

A 牛の発情期間は限られている。個々の牛のデータや、監視員、授精師などの情報共有による連携が必要と考えている。

Q (委員会の意見) 受胎率の向上は、酪農畜産経営に直結するので、関係者との連携を密にした取り組みをするべきである。スポーツ合宿誘致推進のため、助成拡大を図るべきであると思うが考えは。

A 現在の助成制度は、市内体育施設使用料の2分の1の助成のみである。他の自治体で、宿泊料を助成している例もあるもので、来年度に向け、検討したい。

Q (委員会の意見) 体育施設の有効活用や合宿誘致への助成についての制度を、早期に検討すべきである。



体育施設でのサッカー練習



八幡平市立図書館

Q 図書の購入費は全体でいくらになるのか。また、図書購入の選定基準を伺う。

A 平成28年度の購入は、344万5千円で、図書選定は図書館協議会で決定し、話題性のあるものから購入している。

Q (委員会の意見) 図書購入費の予算を増額し、図書館の施設整備も検討していくこと。

A 生活保護費支給の状況と、保護からの脱却に向けての自立支援策は。年々増加傾向で、多くが高齢者であるが、若者も多少いるので、自立に向けた指導を進めていきたい。

Q (委員会の意見) 対象者の自立に向けた指導を強化していくこと。



松川流域の災害状況

Q 田山スマートインターチェンジ構想調査の結果および今後の展望を伺う。

A スマートインターチェンジの位置は、田山パーキングエリアしか可能性がなく、事業費も多額となり、現実的にはかなり厳しい状況にある。

Q (委員会の意見) 事業費や採算性、利用者数などを十分検証の上、事業実施の可能性を慎重に検討すべきである。

A 松川に隣接している圃場は、大雨の際に同じ箇所が冠水被害を受けている。護岸の高さをもう少し高くできないものか。災害復旧は、現状回復が原則であり、この場合は、河川管理者の県が工事を行うこととなっている。

Q (委員会の意見) 現状回復という原則では、最近の集中豪雨に対応できず、見直すよう国や県に強く要望すべきである。

Q 移住・定住を促進するため、雇用の場の確保が重要ではないのか。

A 現在、IT関係のスパルタキャンプを実施しており、起業家支援センターへの登録が、多くなるようPRしていきたい。

Q (委員会の意見) 情報発信は重要なので関係課で連携の上、方法を工夫し、多くの情報を発信すべきである。

A 飼料用牧草ロールに雑草が混入していることがある。良質な牧草の供給のためにも、定期の草地更新が必要ではないのか。放牧頭数が減少し、採草できずに雑草が混入しているものもある。小面積でも簡易更新が必要と考えている。

Q (委員会の意見) 牛の増体、繁殖障害防止にもなるので、進めるべきである。



牧野の採草地

討論(一般会計・9月8日本会議)

〔反対討論〕 米田定男議員(日本共産党)

年度末の財調基金残高は、約46億円で標準財政規模の38%である。自らが議会答弁で示した適正な基金規模は、標準財政規模の10%程度とは、大きく懸け離れた実態である。政治の責任は、住民が負担した税を、最も効果的に執行することにあり。将来のためという美名のもとに、多額の基金積み立ては、税負担公平の原則に反するものである。財政運営において、一定の基金積み立ては否定しないが、1世帯46万円に相当する巨額の基金額は、到底容認できないものである。

〔賛成討論〕 工藤隆一議員(八起会)

一般会計実質収支額は、5億4千万円の黒字となり、市税は、収入済額が4千2百万円の増額となった。実質公債費率および将来負担比率は、おおむね良好に推移している。当年度は、希望郷いわて国体を、市民と行政が一体となり成功させた喜ばしい年であった。歳出では、再生可能エネルギー推進事業、都市計画道路大更駅前線整備、JR大更駅舎工事など、市民が安心して暮らせる街づくりへの取り組みの成果は、高く評価できる。今後とも、市民の負託に応える市政運営を期待し賛成する。

質問した事項

- 1 田村 善男 議員…… P 8
 - ・農業振興について
 - ・教育振興について
- 2 大森 力男 議員…… P 9
 - ・新たな雇用の場の確保について
 - ・高齢社会のまちづくりについて
 - ・林業の成長産業化について
- 3 山本 榮 議員…… P 10
 - ・コミュニティバスの試験運行について
 - ・防犯灯の管理について
- 4 関 善次郎 議員…… P 10
 - ・林業振興について
 - ・学力向上と心身ともに鍛える教育について
- 5 米田 定男 議員…… P 11
 - ・大更にぎわい創出事業について
 - ・介護保険について
- 6 高橋 悦郎 議員…… P 12
 - ・基金積立金と財政運営について
 - ・市道の軽舗装整備事業について
- 7 小野寺昭一 議員…… P 12
 - ・学校給食について
 - ・ラグビー公認キャンプ地について



田村善男 議員 (八起会)

新たな米政策への対応 国や県の補助事業を活用



増える飼料用米の作付け

問 担い手の所得確保は、水田農業の極めて大事な課題である。需要に応じた生産や消費者、実需者に支援される米作りを進めるとともに、国の助成制度を活用した所得向上に取り組むべきであり、転作定着が価格安定の鍵と思うが、市の認識と対応策を伺う。

市長 担い手の所得確保は、国や県の補助事業の積極的な活用や、八幡平市農の大地担い手育成支援事業の補助により、所得向上につなげ、今後も飼料用米を中心に転作が増える予想であるので、戦略助成の単価が低

くならないよう、国や農政局へ働きかけを続けていく。 支援必要通級指導 問 通級指導に当たる教員は、特別支援教育の知識を持つ者が当たることが求められているが、市内小中学校の通級指導の実態を伺う。

教育長 市内小中学校で、発達障害の診断を受けている児童生徒、発達障害の疑いがある児童生徒は、7校で33名となっている。市内3小学校に4つの通級教室を設置しており、4教室とも言語障害としている。指導する教員は、4教室と

も専門の研修を受けた正教員が担当している。今後の国の動向を見ながら、通級指導教室の設置者である県教育委員会に、特別支援教育の専門の知識を有する教員の配置を働きかけていく考えである。



大森力男 議員 (新政クラブ)

新たな雇用の場の確保 中渡工場適地整備で対応



現在の盛岡北部工業団地

問 人口減少や、空家、商店街のシャッター通り化など、重大局面を迎えている。打開策として、新たな雇用の場の確保が不可欠で、思い切った雇用対策が求められているが対応は。

市長 中渡工場適地の整備を行い、企業誘致を進める。 企業立地への補助金要件の引き下げなど、既存企業に対する助成にも取り組みたい。

問 本市の持つ豊かな自然環境や、移住する上で大切な要素となる食、住、文化など、大都市圏にない利点を積極的に情報発信し、定

住者を誘致してはどうか。 市長 移住体験ツアーやお試し居住を実施し評価が上がっている。八幡平FANなどさまざまな媒体を通じて、本市の魅力を発信したい。

問 フレイル(加齢に伴う虚弱)を遅らせるためには、「食事」「運動」「社会参加」の三要素が必要であることが分かっていた。社会参加に対応したまちづくりは。 市長 多種多様な社会参加ができるよう、関係団体と連携を図り、受け皿づくり

林業の成長産業化

や啓発を行っていききたい。 問 国産材を安定価格で、安定供給できる体制づくりの、林家への政策誘導は。 市長 市単独のかさ上げ補助を、機械導入や森林作業道整備に助成している。

高齢社会の到来と適切なまちづくり



たかはしえつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)

突出した財調基金の積立

将来のため積み立てた

問 各種基金への積立金は、自由に使える一般財源と認識しているが間違いないか。
企画財政課長 基金に回るお金は、一般財源で間違いない。
問 平成27年末で、当市の各種基金の合計が119億円で、人口1人当たり約44

万円になり、県内では突出した基金残高になっているが、その認識はあるのか。
企画財政課長 当市が県内14市の中で、基金残高が多いのは認識している。
問 基金の中で最も大きいのが、財政調整基金である。その適切な積立額はいくら

か。
市長 一般的に標準財政規模の5%が目安で、10%が適正規模とされている。当市の場合、10%だと12億円となる。しかし、災害や経済の低迷を想定し、20%の25億円を目標にしてきた。
問 当市の平成27年度末の

財政調整基金は52億円で、標準財政規模の42・9%となり、目標も大きく上回っており、震災を受けた自治体を除き、県内では第1位である。東北6県の全74市の中でも第2位で、突出した積立額と言える。合併の経緯など、当市だけが特別



財政担当の企画財政課

な事情や条件があるとは思えない。なぜ、これだけ多くの積立額になったのか。

企画財政課長 将来、当市の交付税が一本算定で減額になったときや、合併特別債が使えなくなったときに備えて、一生涯積みこんできた結果である。



おのてらしょういち
小野寺昭一 議員
(八起会)

平館高校へ学校給食提供

保護者の総意を前提

問 学校給食は、将来を担う児童生徒の心身の健全な発達および家庭の食生活の改善に寄与することを目的としている。小中学校児童生徒数の減少により、給食センターでの雇用確保や、平館高校生徒の保護者からの要望もあるので、平館高

校にも学校給食を提供すべきと思うが考えを伺う。
教育長 県内では、主に県北や沿岸地域の自治体が地元高等学校存続のための支援策として、保護者負担の軽減と、生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ることを主な目的と

し、学校給食を提供している取り組みは承知している。平館高校への学校給食の提供については、あくまでも保護者の総意を前提に、学校側から具体的な要望があった際には、先進事例などを調査研究し、検討していきたい。

Wカップラグビー公認キャンプ地

問 アジアで初めてのラグビーワールドカップが、2019年9月20日から11月20日まで開催予定で、釜石市での開催も決まっている。それに伴い、当市を含め、

県内5カ所が公認キャンプ地誘致に名乗り出ているが、誘致の進捗状況について伺う。
市長 ラグビー公認キャンプ地は、全国で90の自治体が応募している。当市も、選定されることを待っている。



学校給食センター

議会の動き

(8月1日～10月31日)

8月

- ▶ 2日 平成29年第2回臨時会、議員全員協議会、総務常任委員会協議会
- ▶ 7日 畜産振興議員連盟視察研修
- ▶ 9日 栃木県鹿沼市議会会派視察来庁
- ▶ 16日 議会運営委員会
- ▶ 17日 奥産道議員連盟視察研修
- ▶ 23日 平成29年第3回定例会（～9月8日）、市政調査会理事會、産業建設常任委員会協議会、議会広聴広報常任委員会
- ▶ 25日 産業建設常任委員会
- ▶ 28日 決算特別委員会
- ▶ 29日 決算特別委員会
- ▶ 30日 決算特別委員会、教育民生常任委員会、総務常任委員会

9月

- ▶ 4日 決算特別委員会
- ▶ 6日 決算特別委員会、議会運営委員会
- ▶ 11日 議会運営委員会、議会改革推進会議
- ▶ 20日 議会広聴広報常任委員会
- ▶ 27日 矢巾町議会視察研修

10月

- ▶ 3日 議員全員協議会、議会運営委員会、議会広聴広報常任委員会
- ▶ 10日 平成29年第3回臨時会、議員全員協議会、議会広聴広報常任委員会
- ▶ 11日 茨城県牛久市議会会派・つくば市議会会派視察来庁
- ▶ 18日 緑松会・市民クラブ・自由クラブ会派合同研修（～21日）
- ▶ 23日 議会広聴広報常任委員会
- ▶ 24日 教育民生常任委員会所管事務調査に係る視察研修（～26日）
- ▶ 27日 議会改革推進会議
- ▶ 30日 議会広聴広報常任委員会、平成29年盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会
- ▶ 31日 平成29年10月盛岡地区広域消防組合議会定例会